

# 三月の保育

及川ふみ

三月は幼稚園として、最も面白い、充實した時期である。年長組は勿論のこと、年少組もすっかり幼稚園の生活になれて、一日々々が實に愉快さうである。

月の半ばもすぎれば、時々には暖かい日もあつて庭遊びも心よく出来る。幼稚園のお名残りに、お部屋の内でも、お庭でも充分に遊ばせたいものである。

月末にある保育終了式の準備の爲に、時々記念の寫眞——入園當初の頃、遠足の日、運動會、或は園舎、園庭、保育室、先生方などの寫眞を、思ひ出草として一綴の寫眞帖におさめて、保育終了の日に、お餞別として各幼児に頒つのも一つのよい思ひつきである。又自由畫、切り紙などの幼児の作品の綴りもよい記念品となる。

保育終了式は小學校の卒業式のように形式は整然とは出来ないが、楽しい、うれしい最後の集りとして、保護者も招いて、幼児が日頃覺えた、唱歌や遊戯、お話などをみんなの幼児が

交る／＼にして、あそびで簡単な茶菓の會を續けてなごやかなお別れをしたい。

第一週 三月一日

土

明治神宮遙拜式

お雛まつりの支度

幼児に手傳はせてお雛雜を飾る

第二週 三月三日——三月八日

月

雛まつり

雛段の前に全園の幼児が集つて雛まつり

唱歌、遊戯、お話、人形芝居など組全體であつたり、或は數人、或は一人など組合せをこり／＼にして誰もが何かする様にする。後でこの席で各自持參のお辨當を開き、幼稚園よりのお菓子のお食後で會をおしまひにする。

火

自由畫

おひな様の前で、かざられたお雛様の寫生

紙仕事

桃の花のきり紙

水

お話 地久節 皇后陛下のお話

唱歌遊戯 春(フレーザー賞)

木

皇后陛下御誕辰祝賀式

金

唱歌遊戯 春(フレーベル賞)

粘土 自由製作

土

お話し

自由畫

第三週 三月十日——十五日

月

お話し 陸軍記念日

ヌリエ 勳章作り

火

唱歌遊戯 たんぼ

紙仕事 自由材料

水

觀察 木の芽、草の芽

三月も半近くなるに暖い日もある。庭の木々もそれ／＼小さい芽を出し始める。バラの芽、プラタナの芽、柳の芽、チューリップの芽、ナツナなぎ探ね歩く／＼のものが見つけ出される。保育室のお話よりも、幼児たちに幼稚園の木の芽、草の芽を探させて見る事にする。しのびよる春の様子を語りずして、幼児たちに觀察させたい。自由畫 今見てきた木々の芽を自由畫にかゝせておく。芽の形、色なきもそれ／＼ちがつてゐる。

木

お話し チューリップの芽

紙粘土製作 自由材料

金

唱歌遊戯 たんぼ

自由畫 年少組の記念に各児が一組の人数だけの數をか

く(幾回にもわけて)

土

紙仕事 自由材料

第四週 三月十七日——二十二日

月

唱歌遊戯 春がきた

自由畫

お話し

火

紙粘土の色ヌリ

唱歌遊戯 春がきた

紙粘土の色ヌリ

木

保育終了式の練習

金

春季皇靈祭

土

保育終了式